

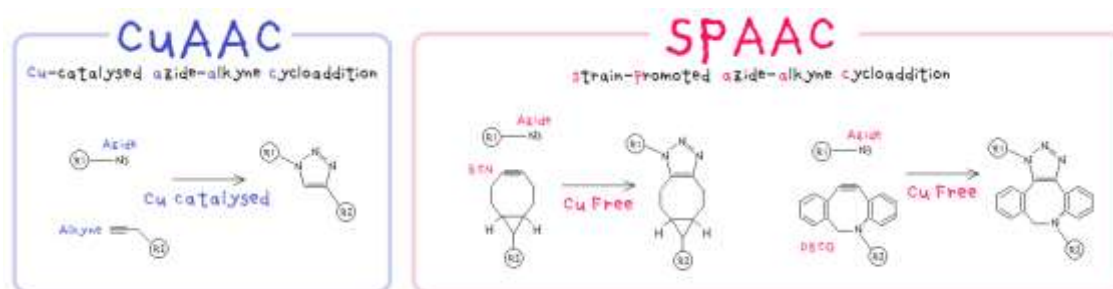
付加環化反応で機能性分子を創り出す

「クリックケミストリー⑨」

NEW! ビシクロノニン修飾オリゴ DNA

弊社 web site 『クリックケミストリー』のページを更新しました！

⇒詳細は[こちら](#)



前回は、次世代シーケンスにおける、クリックケミストリーを用いた『クリックシーケンス』の文献をご紹介しました。銅イオンを触媒としたアルキンとアジドの反応で連結させた一本鎖 DNA は、PCR 増幅されるという内容でした。では、同じようなクリックライゲーションを、銅イオンフリーの条件下では行うことができるのでしょうか。

▶▶今回紹介する文献では、銅イオンフリーのもとで DNA を連結させるため、シクロオクチン (DBCO)だけではなく、ビシクロノニン(BCN)という同じく歪んだアルキンも用いています。ビシクロノニン(BCN)はシクロオクチン(DBCO)に比べて分子高が小さいことが特長です。

Solid phase click ligation for the synthesis of very long oligonucleotides, Chem. Commun., 2013, 49, 6959

日本遺伝子研究所では、クリックケミストリー-Huisgen 反応用の修飾オリゴ DNA、RNA 合成を承っております。また、文献にてご紹介しました、銅イオンフリー用『ビシクロノニン修飾オリゴ DNA』の合成も承ります。

- ▶アジド(-N₃)修飾オリゴ DNA
- ▶アルキン(-CECH)修飾オリゴ DNA
- ▶シクロオクチン(DBCO:dibenzocyclooctyl)修飾オリゴ DNA
- NEW!**▶ビシクロノニン(BCN:bicyclo[6.1.0]nonyne)修飾オリゴ DNA
- ▶エチニル dU 修飾オリゴ DNA
- ▶エチニル dSpacer 修飾オリゴ DNA